

THE NINTH SYMPHONY

*We hold this concert
with great respect
for Ludwig van Beethoven!*

KEIO UNIVERSITY
BEETHOVEN SOCIETY CONCERT

Friday, December 28th, 1984 at 7 p.m.
Nerima Bunka Kaikan Hall

L.v.Beethoven

Symphony no.9 in D minor op.125

"Choral"

Conductor : *Shunsuke Hori*
Soprano : *Misako Watanabe*
Alt : *Ayako Otaka*
Tenor : *Masato Haji*
Baritone : *Michio Tatara*
Chorus master : *Isamu Miyadera*

Orchestra *Keio univ. Beethoven society festival orchestra*

Chorus *Keio univ. Beethoven society festival chorus*

Promusica symphonic chorus

Saitama Daiku chorus

“歓喜”の魔力

本日はお忙しい中、当ベートーベン協会の演奏会にいらしていただき大変有難く存じます。当協会は、昨年十二月二十六日に、一年後にベートーベンの“第九”交響曲を演奏するためのオーケストラと合唱団をつくろうという企画のもと、慶応義塾大学医学部管弦楽団のメンバーが5人集まり結成された協会です。何もないところから、300余人の団体を結成しようという常識を無視した企画ではありましたが、実行にうつしてしまったのは“第九”の魅力の方がはるかに上回っていたという事でありましょうか。

ベートーベンの“第九”交響曲は、その4楽章にシラーの「歓喜に寄す」の詩をもった交響曲です。その詩は次の冒頭ではじまります。

「歓喜よ。貴女は美しい神々の火花です。貴女は天上の楽園からいらした乙女です。私達はその火花の酒に酔い、貴女の崇高な聖殿へ踏み入ろうとしています。世の習わしが強引に切り離してしまったものを、貴女の魔力は再び結び合わせるのです。貴女のやわらかいつばさに抱かれるところで、すべての人々は兄弟になるのです。」

この詩はフランス革命に代表される18世紀末社会の市民階級の王制への反抗の歌です。王制によってわけへだてられた市民達は、“歓喜”の魔力により再び団結する事ができるという意味の歌ではないでしょうか。その後歓喜の魔力によりフランス革命は成功し市民達は“自由”を勝ち得ていくのですが、現代において、“自由”という概念はあまりに日常化しており、それ故個々の人間は再び他人とわけへだてられてしまったような気がします。しかしもし、今夜ステージで演奏する見ず知らずの300人、そして御来場いただいた多くの方々が、“第九”即ち“歓喜”の魔力により、連帯感のようなものを得る事ができたとすれば、社会体制の全く変わってしまった現在においても、シラーの予言は生き続けているという事にはならないでしょうか。

演奏会が始まろうとする今、舞台袖で控える我々はフランス革命が勃発する前夜の市民達の緊張と情熱とロマンに満ちた気分にいるのかもしれない。

最後に、今回の企画に御賛同下さった第一線で御活躍中のソリストの方々に厚くお礼申し上げます。

慶応義塾大学ベートーベン協会代表 横山裕一

第9とエンビ服

今から10年前、早大フロイデハルモニー（早大主催第9演奏会）で飯守泰次郎氏のアシスタントを勤めたのが私の真の意味での第9との出逢いである。音楽史上に於ける最高傑作を前にしたその男は、人生を棒に振ってでも棒振りになろうと決意したのである。その後少々暗黒時代もあったが、「第9を振るまでは……」の信念が自分を支えて来たように思える。10年前の私と同じ様に第9をやりたいという気持だけで集まって来たオーケストラと合唱団を指揮する私は今、幸福の絶頂にある。そしてこの記念すべき演奏会を機会にエンビ服を作ることにした。尊敬する指揮者、尾高忠明氏の手をわずらわせたのだが、氏にあやかってデザインも生地も全く同じものをと要求してデザイナー氏を苦笑させた。今日着るエンビ服がいつまでも私の仕事着として行動を共にしてくれると思うと、勇気がリン湧いてくるのである。

慶応義塾大学ベートーベン協会音楽監督 堀 俊輔

Profile

Conductor 堀 俊輔

1950年大阪に出生。早稲田大学英文科、東京芸術大学音楽学部作曲科を経て現在指揮科4年在学中。早大時代はオーケストラ、グリークラブの学生指揮者として活躍、芸大では教官オケ、学生オケ、声楽科合唱団を数多く指揮する。又芸大現代作曲音楽祭を主宰して多くの初演を手掛け、内外の注目を得る。

学外においても、すでにオペラ、ベルゴレージ「奥様女中」、間宮芳生「昔噺人買い太郎兵衛」を指揮、幅広い守備範囲を持つ指揮者を目指し研鑽中である。作曲を尾高惇忠、原博、指揮を佐藤功太郎、汐澤安彦、V・フェルドプリル各氏に師事。二期会オペラスタジオ、プロムシカ合唱団、各指揮者。



Soprano 渡辺 美佐子



東京音楽大学卒業。同大研究科修了
オペラ研修所 第4期生修了
(1984年3月)

滝沢三重子、栗林義信の両氏に師事
1984年5月、日仏コンクール第2位入賞
1984年5月、日伊コンクール第3位入賞

オペラ研修所の研修中(2年間)にモーツァルト「魔笛」のバミーナ、第1侍女、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、ウェーバー「魔弾の射手」のアガター、ベルリーニ「ノルマ」

のノルマ、プッチーニ「蝶々夫人」の蝶々さん等々をレパートリーとした。とりわけ、研修所修了公演(於、日生劇場)での蝶々さん役では、安定した演唱により高い評価を得た。1984年6月新日フィル定期ワーグナー「ラインの黄金」(朝比奈隆指揮)のウェルグンデを歌い本格的なソプラノ・リリコ役として今後のオペラ活動が期待される。

Alt 尾高 綾子



東京芸術大学大学院修了。日本音楽コンクール入選。芸大オペラ「修善寺物語」の桂でオペラデビュー。二期会公演「カルメン」メルセデス、その他NHKのラジオ放送はじめ数多くの演奏会に出演する。本来はメゾソプラノであるが表現力の幅広さで低音域も深い味わいを持っている。畑中良輔、中村浩子の各氏に師事。二期会会員。

Tenor 土師 雅人



京都市立芸術大学卒業後、東京芸術大学大学院入学現在オペラ専攻2年在学中。

芸大オペラ、スメタナ作曲「売られた花嫁」のハンスでデビュー。今年度芸大オペラ、モーツァルト作曲「イドメネオ」のイドメネオを射止め、絶讃を博し本格的テノールとして将来を高く囑望されている。宗教音楽にも秀でた歌唱力を見せ、第9のソリストとしても芸大並びに群響演奏会で経験を積んでいる。二期会研究生。

Baritone 多田 羅 迪夫



1969年東京芸術大学卒業。同大学院オペラ科修了。伊藤亘行、中山悌一に師事。在学中安宅賞受賞。1971年オペラ小劇場「こんにゃく座」創立に参画。1973年イタリアに留学。カンボガリアーニ、ベリッツォーニ等に師事、その後ドイツでE・グリェンマー、O・フラウスに師事。1975年よりハイデルベルグ市立劇場にて活躍、1977年西ドイツのゲルゼンキルヒェン市立劇場と契約、数々のオペラやコンサートに出演。1981年ドルトムント市立劇場の「ボエーム」でショナールを客演、M・フレーニ、R・パネライ等と共演、絶讃を博す。帰国後、東京オペラプロデュース「黄金の国」のフェレイラ、「ピバノラ・マンマ」では母親アガタを好演。放送の分野でもNHKの創作オペラ「耳なし芳一」等に出演。1983年二期会オペラ「ジークフリート」のアルベリッヒを歌う。1984年6月、新日フィル定期、ワーグナー「ラインの黄金」(朝比奈隆指揮)で、アルベリッヒを歌う。

慶応義塾大学ベートーベン協会祝祭合唱団

Soprano

赤須 弥生
浅川由紀子
飯森 理枝
上田 千春
大下由美子
金井 弥栄
萱場 真美
佐々木玲子
島崎奈保子
城戸 梨花
城戸 麻里
新谷 通子
東山みのり
長沢真理子
野口美智子
橋本 典子
三木 直子
藤本 典子
湯橋 容子
吉田 典子
吉武 明子
吉村紀保美
伊東 恵里
平川 聡子
真鍋佳代子
遠藤 弥生
斎藤 政江
桜沢 真理子

滝沢 睦美
末吉 裕子
大下由美子
浅川由紀子
柴田祐三子
中村るみ子
太田 和子
浅野しのぶ
石松 有紀
岩撫 千鶴
井上 恵
高橋 尚子
相馬 敦子
柳下 千栄
渡辺亜衣子
天井 賢枝
川俣由規子
西村 由美
宇田 玲子
相川 景子
坪井 則子
川島 貴依子
寺田真奈美
佐藤 恵子
池上 文子
渡辺 京子
西山 景子
米崎 雅子
日塔富紀子

Alt

本田 和香
高倉真由美
坂本 結花
茨田麻里子
森 亜矢子
小松崎 緑
牧野阿由美
黒田 昌代
中山 香智子
森越 葉子
下田真由美
佐藤 牧子
加野 彩子
鈴木 裕子
久保田起句子
東 多佳子
田川 久美
遠藤真智子
田中 真理
綱島 治恵
平田 尚子
橋本真奈美
桑原めぐみ
熊倉 靖子
齊藤 貴美
江森美由紀
高橋 明江
菊地 薫

鈴木真美子
安藤 淑子
萬谷 衣加
池田美和子
稲積 豊子
岩本 洋子
大山みさ子
加藤 恭子
楠山 佳代子
小宮 郁子
清水 仁美
清水 美和
関 由美
玉井 操
中嶋 仁子
永嶋 千晶
西川 栄子
野口 悦子
額 憲子
古川 恵子
横関 裕子
長谷川伸子

Tenor

高橋 良行
佐藤 紀彦
新井 泉
上野 秀之
奥村 徹

塩川 秀樹
関 保
内布 英昭
中島 裕人
伊藤 明男
岩瀬 一男
松本 明男
中村 秀徳
岩切 祐二
伊東 理孝
南 伸一
柳沢 賢二
茅野 英智
小林 久保
久保 孝明

Bass

裕 英一
西川 康雄
堀内 聖志
永井 豊
高島 良行
安念 泰紀
吉村 泰輔
片山 雄一
尾高 宗明
高村 史隆
湯沢 佳清
川野 滋

岡崎 俊介
清井 俊彦
高木 淳
堀内 直紀
池田 和義
山田 靖積
佐久間 智
高久 智之
竹内 直之
飯塚 泰之
佐藤 幸雄
安西 俊久
安見 州治
梅田 隆二
岡田 良行
門松 毅
久木尚仁
黒川 仁
小山 武彦
島田 直樹
新谷 大生
根本 哲生
野中 昭一
野尻 邦夫
橋本 浩明
南 良行
福島 英一郎
上野 一郎
平賀 良行

埼玉第九合唱団

Soprano

松村 初子
渡辺 宏美
山野井由美子
三村 啓子
高橋由実子
打田より子
坂本 和枝

芦田 靖子
大嶋 文子
金子 薫
福沢 宏子
黒川 琴枝

桜井 閑子
草谷 智意子
角田まみえ
和田 智子
藤卷 朋子
松尾 京子
船津 紀子
栗原 秀子

沢原 光
幕田多賀子
坂野真紀子
堀江 尚子
谷島あい子

Tenor

齊藤 真琴
松村 敏男
瀬島 祐二
浅子 元

Bass

西川 裕二
仲田 順一
小熊 勇次
宇田 嘉昌
鎌田 明
大崎 裕久
木村英三郎

プロムジカ合唱団

Soprano

金沢多美子
水谷 雅子
成田久美子
玉置 恭子
清水 貴子
真野佐智子
中島智恵子
安嶋 桂子
長嶋 誓子
増尾 玲子
中村美紀子
鳥沢 耐子
上野 和子

吉田利美子
林 史巳
杉森 優子
井辻 朱美
杉臣 万里
小野寺千華子
小林 久巳
石井 慶子
吉沢 幸子
矢吹 智子
宮沢 智喜
伊東真美子
勝山 明美

Alt

蜂谷由紀子
中嶋ひろみ
藤田 萌子
環 優子
齊藤 茂子
大橋佐知子
芹川 浩子
金鋼 道子
服部久美子
染谷 俊子
渡辺 美代
香川 理恵
千葉 妙子

井上三千代
吉沢 幸子
加藤 径子
梅田 千春
川端 春み
西 桂子

Tenor

成田 本行
山口 一之
金井 雄一
安藤 利明
水谷 晴彦

中川 雅弘
塙 大二
立川 幸雄
大野 康明
矢野 卓
有馬 利紀

Bass

中村 哲
松本 望
加藤 義行
岩本 太郎
岡宮 喜雄

山本 益巳
藤田 義哉
愛沢 史樹
島崎 有司
河合 裕彦
佐藤 敏彦
国立 昌裕
浅野 謙樹
東山 弘二
冲山 充
清水 勇
杉山 通
高田 浩
山脇 浩

■ 慶応義塾大学ベートーベン協会祝祭管弦楽団 ■

指揮者 堀 俊輔
コンサートマスター 渡辺 伸啓

1st violin

秋山 敦子
岩佐 厚
内田 良一
梅本 満枝
小崎健次郎
佐々木 司
宗 久乃
辻本 正俊
土橋 緑
長田新太郎
馬場美那子
松平ひろみ
三尾 英之
山口 利治
○渡辺 伸啓
* 浅井 千裕

2nd violin

岩田 宗和
○梅田 千佳
岡部 耕喜
梶井 薫
唐橋 幸子

木津 佳子
島田 恵
高橋 明美
豊島 究
中川 儀英
三村 卓司
渡辺 啓子
* 稲垣 和良
* 岩戸有紀子
* 原田 美佳

Viola

浅越 健助
荒木秀一郎
勝 智子
嶋岡 薫
島田 朗
○辻 美隆
村井 達哉
森島 丘
* 森田 芳子
* 酒井 智子
* 浦部安見子

Violincello

石田 明
太田 晃一
大野 聖子
加藤 誠
佐藤 洋史
島田 光
津久井和子
筒井 裕子
西川 尚生
長谷部桂子
星 衛
村田 満
○山沢 徳純

Contrabass

大塚 健太
道免 和久
三浦 絵里
○山沢 賢之
* 桜井 茂
* 五十嵐元美
* 黒木 岩寿

Flute

○大塚 淳
千葉なつよ
豊間 哲
前山 昭彦

Oboe

○伊熊 啓輔
天野乃里子
笈川 千景
小松崎英樹

Clarinet

長内佳代子
黒田 隆
山下 裕
○横山 裕一

Bassoon

○足立 好司
飯塚 和彦
塚本 牧子
* 磯谷 元伸

Horn

佐々木直哉
高木 博央
田中 秀徳
西尾 元秀
○藤本 真一
渡辺真由美

Trumpet

遠藤 明太
勝木 保夫
宮川佐智子
○茂崎 忠博

Trombone

岡田 知也
田中 享
○藤森 俊二

Timpani &

Percussion
荒井 宏
坂口 幸
吉木 昌志
三浦 肇
(* 賛助)

■ Staff ■

* 企画	横山 裕一	(慶応義塾大学医学部 6年)
* 総務	豊島 究	(同)
発起人	藤本 真一	(日本大学医学部 6年)
	足立 好司	(日本医科大学 6年)
	勝木 保夫	(同)
	小松崎英樹	(同)
	佐々木 司	(東京大学医学部 6年)
	岩佐 厚	(東海大学医学部 6年)
	渡辺 伸啓	(慶応義塾大学商学部 4年)
	梅田 千佳	(東京女子医科大学 4年)
主務	小崎健次郎	(慶応義塾大学医学部 2年)
	島田 直樹	(同)
	島田 恵	(同)
	山下 裕	(同)
	馬場美那子	(慶応義塾大学文学部 3年)
	長内佳代子	(東京女子医科大学 4年)
	宮川佐智子	(同)